

平成24年度第2回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

| | | |
|------------------------------|---|-------------|
| 開催日及び場所 | 平成24年12月10日(月) 中央合同庁舎第3号館 国土交通省共用会議室 5会議室 | |
| 委員 | 委員長 浅野 正一郎 (国立情報学研究所教授) 委員 廣渡 鉄 (廣渡法律事務所 弁護士) 委員 高田 和幸 (東京電機大学理工学部教授) | |
| 審議対象期間 | 平成24年 4月 1日～平成24年 9月30日 | |
| 工事 | 抽出案件 | 0件 |
| | 一般競争 | 0件 |
| | 公募型指名競争 | 0件 (対象案件なし) |
| | 通常指名競争 | 0件 (対象案件なし) |
| | 随意契約 | 0件 (対象案件なし) |
| 建設コンサルタント 業務等 | 1件 | |
| 役務及び物品 | 2件 | |
| 地方官署 工事・一般競争 | 0件 | |
| 合計 | 3件 | |
| 委員からの意見 ・質問、それ に対する回答等 | 意見・質問 | 回 答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による 意見の具申又は 勧告の内容 | なし | |

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>[建設コンサルタント業務等] 一般競争 【空港管制処理システム システム設計】</p> <p>○落札した者と他の者で金額に開きがあるのはどのように考えるか。本案件に関連する他の案件を受注していることが金額に影響するか。</p> <p>○政府間の電子政府計画の中で、コンピュータを使ったものを開発する場合は、競争性の確保の観点から分割発注するというルールがあるが、分割発注することで逆に高くなることはないか。</p> | <p>○業務に対する技術者のレベルによって金額に差が出ると聞いている。本案件に関連するものだけでなく、他のシステム設計においても相当の実績があるためこのくらいの差が出たと思われる。</p> <p>○高くなる可能性はある。しかし、競争性を高める機会を増やす目的でそのようなルールを作っているのに反することはできない。</p> |
| <p>[役務及び物品] 一般競争 【飛行検査機エンジンのオーバーホール作業 (SAAB 型機)】</p> <p>○一者しか応札者がいなかったがオーバーホール作業をできる会社は他にあるのか。</p> <p>○オーバーホール作業は海外でやるのが前提なのか。</p> <p>○輸送費は最初から見積に入れているのか。予定価格に占める割合は大きいのか。</p> | <p>○オーバーホール作業ができる会社は海外に4社あり、そのうち2社は日本に代理店がある。過去には2者参加していたこともあるが、今回は1者だけだった。</p> <p>○国内では能力的に作業できる工場がない。</p> <p>○入れている。予定価格に占める割合はそれほど大きいものではない。</p> |

| 意見・質問 | 回 答 |
|---|---|
| <p>[役務及び物品] 一般競争 【DVOR/DME-08型D-VOR/ DME装置2式の製造】</p> <p>○この装置に関しては今回が初めての調達か。</p> <p>○8台すべて同じメーカーだが、このような装置の製造は複数の会社が競って受注できるほど契約件数がないということか。</p> <p>○同じメーカーが同様のタイプで踏襲して行っていることについてはどう考えるか。</p> | <p>○可搬型は全国に8台あり、今回はそのうちの2台を更新するものであり、初めてではない。</p> <p>○VOR/DME 自体の製造経験者が2者しかなく、ニーズ、調達台数も限られているため2社以外が参加する可能性は低い。</p> <p>○過去の調達実績や現場の展開等に基づいて、その時々 の性能や仕様要件は見直している。</p> |